

事業所名

のぞみ発達支援室ささらづ第二

支援プログラム（児童発達支援）

作成日

2025 年

3 月

18 日

法人（事業所）理念	お子さんひとりひとりに合った療育を提供し確実に発達を伸ばす。ご家族の困りごとに丁寧に耳を傾けて支援する。					
支援方針	発達や学習の遅れ、集団での行動が困難なお子さんに対し、発達の専門家が必要に応じて保育、療育指導を行う。					
営業時間	9 時	30 分	13 時	30 分	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 視覚支援の提示など子どもの特性に合わせた指導を行い、身の回り（食事、排泄、着脱、後片づけ等）のできることを増やしていく。 たくさん褒められる関わりを通して、自信を高めていく。 				
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 外遊びや散歩、サーキット等様々な運動を通して、体の使い方を学び、体幹を鍛えていく。 季節の製作課題等を通して楽しさを感じながら、手指の操作性や集中力を高めていく。 				
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> スケジュールカードや実物等視覚的な手掛かりを提示することで見通しを立て、スムーズに行動できるように支援する。 ICプログラムをとり、子どもの発達段階を理解するとともに、結果をご家族と共有し発達段階や個性、特性に合わせたアドバイス等を行う。 様々な活動を通して、集団行動の力を高めていく。 視覚的な情報を取り入れながら事前の約束やポイントの確認を課題に応じて行うことで、場面に適した行動を自分で判断しコントロールする力を高める。 				
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> マカトンサインや音声言語など本人に合った手段で要求や自分の気持ちを伝えられるように促していく。 絵本や手遊びを通して指導者との関わりを楽しむ中で、語彙の幅を広げていく。 				
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 集団遊びを通して、一緒に遊ぶ楽しさ等を共有することで、友達を意識して関わりが持てるようにしていく。 相手の気持ちに配慮できるよう、SST（ソーシャルスキルトレーニング）を通して様々な場面に合った対応スキルを高めていく。 				
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ご家族の困り感に寄り添い、お子さんの特性に合った対応方法を一緒に考え支援していく。 定期的に個別面談を行う。（ご希望に応じて都度対応可） 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて幼稚園や保育所等との情報共有、訪問等を行う。 必要に応じてお子さんに合った生活環境の提案を行う。 			
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関となる行政との情報共有 保育園やのぞみ牧場学園との交流 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> 内部、外部研修への参加 子どもに関連のある機関との連携会議への参加 			
主な行事等	夏のお楽しみ会、クリスマス会、おわかれ会					

事業所名

のぞみ発達支援室ささらづ第二

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

2025 年

3 月

18 日

法人（事業所）理念	子どもから成人まで体の健やかな成長を願い、時にかなった福祉サービスの提供をする。保護者への支援を通して、将来への展望をもって協働する。					
支援方針	児童発達支援から移行したお子さんの支援を継続して行う。併せて就学後に直面する様々な問題の解決に向けて、保護者や関係者とともに対応する。					
営業時間	14 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 健康状態のチェックと必要な対応を実施する。 保護者もしくは支援者に対して心身の状況を確認し、利用中に体調の変化がある場合には適切な対処（例：医療機関への受診、保護者への状況の報告など）を行う。 たくさんの褒められる関わりを通して、自信を高めていく。 				
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> SSTを取り入れながら集団で行うゲーム（ポッチャ、鬼ごっこ、ドッジボール、バドミントン等）や制作活動を通して粗大、微細運動力の向上を目指す。 指導者との関わりを通して小集団での活動に参加する中で、苦手意識の軽減につなげる。 				
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> プリント学習やルールのあるゲーム等を通して楽しく意欲的に学習するモチベーションを高めることで認知、学習力の向上を目指す。 様々な活動を通して、集団行動の力を高めていく。 視覚的な情報を取り入れながら事前の約束やポイントの確認を課題に応じて行うことで、場面に適した行動を自分で判断しコントロールする力を高める。 				
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 子どもに合った手段で自分の気持ちを表現できるよう支援する。 視覚的な情報を用いることで指示やルールの理解力向上を目指す。 				
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> SST（ソーシャルスキルトレーニング）を実施し、社会生活を営むために必要な技能を習得する。 SST（ソーシャルスキルトレーニング）を通して、相手の気持ちを考えることや受け入れる力を身に付け良好な対人関係を築ける力を向上する。 				
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> フィードバック保護者の困り感に寄り添い、相談及び助言を行う。 	移行支援		<ul style="list-style-type: none"> 学校や行政との連携を図るとともに、必要に応じて担当者会議の実施及び参加を行う。 		
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関となる行政との情報共有 	職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> 内部、外部研修への参加 子どもに関連のある機関との連携会議への参加 		
主な行事等	クリスマス会、おたのしみ活動（年2回）					